

カウントダウン! 2019 統一地方選

生活者ネット40人の候補予定者を紹介!

ひとりにしない子育て・介護 支えあい分かちあう 地域共生社会へ



東京・生活者ネットワーク
2019 統一地方選選対長
都議会議員
[国立市・国分寺市]
山内れい子

生活者目線で政策を磨き上げる——生活者ネットワークがめざすのは「生活の豊かさ」です。平和であり続けることの大切さ、命を守り一人ひとりの人権を尊重することの重要性、自然環境の破壊を止め未来に残していく努力が、今まさに求められています。

一日一日の生活に精一杯で特別な困難がなくも、見過ごしてはならないのが「政治」です。議会では話し合われていることは、子育てや介護、仕事や学校、環境問題など、どれ一つをとっても私たちに身近なことです。だからこそ「普通の生活者」が、決定機関である議会に

どどん入り、発言する。生活者目線で、不断に政策を磨き上げ、「生活の豊かさ」こそをめざす議会へと高めていかなければなりません。地域に根ざして42年。孤独と対立、不安定さのなかで、生きる力を育み、誰もが自由と可能性を追求できる社会、つながり支えあえる共生社会をめざす——

東京・生活者ネットワークは、25の地域ネットに40人の女性候補予定者を擁立し、2019年統一地方選挙に臨みます。

Topics

新たな人材をむかえ3議席確保に全力!

世田谷／練馬／国分寺／小平

東京・生活者ネットワーク代表委員 西崎光子・大西由紀子・水谷泉



東京・生活者ネットワークの議員と候補予定者。政策発表集会で、2018年10月27日

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 
金井えり子/世田谷区
世田谷・生活者ネットワーク
政策委員 | 
すどうのぶえ/練馬区
練馬・生活者ネットワーク
政策委員 | 
津村ちさと/国分寺市
国分寺・生活者ネットワーク
政策委員 | 
山浦まゆみ/小平市
小平・生活者ネットワーク
政策委員長 |
|--|---|--|---|

地域政党（ローカルパーティ）東京・生活者ネットワークは、地域の市民活動や、私から始める生活協同組合のまちづくり活動に参加する女性たちが「政策決定の場への市民の直接参加を」と訴えて、1977年7月の都議会議員選挙（練馬選挙区）に初挑戦したことに始まります。以来42年。暮らし発・地域課題を政治の場へ押し上げ、環境福祉優先政治を進めてきました。

昨年5月には、私たちが求め続けてきた、選挙で男女の候補者数を「均等」にするよう政党に求める「政治分野における男女共同参画推進法」が成立。今こそ地域から女性議員を増やし、あらゆる政策分野・施策分野を超えて、「ジェンダー（男女平等）主流化」アプローチを図るべきです。

2019 統一地方選にむけて準備を開始した25の地域ネットの、なかでも3議席確保に全力で挑戦する「世田谷／練馬／国分寺／小平」の各ネットから、新人女性候補予定者を紹介します。

東京・生活者ネットワークは 47人の女性議員をもつローカルパーティです

生活者ネットワークは東京都内33の自治体にあり、都議会議員1人、市・区議会議員46人の女性議員とともにそれぞれの地域課題に取り組むと同時に、市や区をこえた「東京問題」には全体で取り組んでいます。東京を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするために発言を続けます。

●1977年7月に活動を開始した地域政党（ローカルパーティ）東京・生活者ネットワークが、これまでに生み出した女性議員数：207人

3つのルール

1 議員報酬は市民の政治活動資金に

生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員報酬は、市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。

2 議員は交代制（ローテーション）

生活者ネットワークの議員は、最長でも3期12年で交代します。議員を職業化・特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や地域活動などに、その経験を活かします。

3 選挙はカンパとボランティアで

選挙は、政治に参加する入り口です。みんなでお金（カンパ）と知恵や労力（ボランティア）を出し合い、選挙を行います。

●みなさまのカンパを募集しています。
郵便振替口座番号00130-3-18417 加入者名「東京・生活者ネットワーク」

●4月21日（日）は、2019年統一地方選挙の投票日です（期日前投票は、4月15日～20日）。

人口減少社会を目前に、格差問題が日々深刻化しています。高齢者、障がい者、子ども家庭の社会的孤立に対応するための、横断的、普遍的な地域支援システムの一日も早い構築が、政治・行政、市民社会に求められています。生活者ネットワークは、「ひとりにしない子育て・介護 支えあい分かちあう地域共生社会へ」を合言葉に、誰もが、地域でその人らしく暮らせる福祉優先社会をめざします。



品川 たなか さやか



田中 さやか

1982年目黒区生まれ。都立南高校(現美原高校)卒業。アパレル会社勤務。脱原発デモや官邸前抗議に参加。放射能から子どもを守る会で活動。2015年～品川区議会議員。区民委員会。

脱被曝・卒無関心・命を守る政治を品川から！ 多様性を認め合う社会をめざします。

品川 よしだ ゆみこ



吉田 ゆみこ

1954年品川区生まれ。学習院大学卒業。生協で食の安全、環境問題に取り組む。生活クラブ生協理事長。「原発」都民投票条例直接請求の請求代表者。2015年～品川区議会議員。総務委員会。

掘り起こした品川区の問題・課題、私自身に取り組むために2期目挑戦します！

杉並 そね ふみこ



そね 文子

1968年世田谷区生まれ。日本大学卒業。働アジヤ学生文化協会勤務。六ヶ所核燃再処理工場反対運動に取り組む。2011年～杉並区議会議員(現在2期目)。子宮頸がんワクチン被害問題に取り組む。

多様性を認め合い、だれもがその人らしさを活かせる居場所をつくりたい。

杉並 おくだ まさこ



奥田 雅子

1960年江東区生まれ。フェリス女学院短期大学卒業。総合商社勤務。北東京生活クラブ生協理事長。福祉、子ども・子育て地域活動支援のインクルーシブ事業連合事務局長。2015年～杉並区議会議員。

セーフティネットのしくみを充実させ、だれも排除されない社会をつくる。

中野 ほその かよこ



細野 かよこ

1962年三重県生まれ。日本福祉大学卒業。ケア付き住宅の企画・運営会社など勤務。フリーランスデザイナー。なかのアクション・福島子ども保護プロジェクトメンバー。2015年～中野区議会議員。

地域から、自治体から、一人ひとりが大切にされる社会をめざします。

練馬 きみがき けいこ



きみがき 圭子

1957年練馬区生まれ。学習院大学卒業。高校数学科教諭。練馬・生活者ネット事務局、副代表、子ども・教育担当、環境担当。中学校PTA役員。2011年～練馬区議会議員(現在2期目)。企画総務委員会。

区民を差別し排除する区政をただし、公平・平等な地域社会をつくりまします。

練馬 やない かつこ



やない 克子

1962年荒川区生まれ。大泉北高校卒業。鉄鋼メーカー勤務。生協業務を受託するワークス・コレクティブに参画。理事。2014年(補欠選)～練馬区議会議員(現在2期目)。環境まちづくり委員会。

福祉・環境優先、人権と多様性を認め合う地域社会の実現に取り組まします。

練馬 すどう の ぶ え



すどうの ぶえ

1962年東京都北区生まれ。国際商科大学(現東京国際大学)卒業。専門商社、外資系銀行、不動産会社勤務。DV被害女性プログラムファシリテーター。CAP(子どもへの暴力防止)プログラム活動。

人権を大切にジェンダーの視点で、格差や差別のない社会をめざします。

多摩 きしだ めぐみ



岸田 めぐみ

1983年吹田市生まれ。大阪信愛女学院高校、大手前栄養学院専門学校卒業。管理栄養士。(株)とうはん、(株)レノアコーポレーション勤務。自主保育で子どもと野外活動を行う。生協まち多摩消費委員。

子どもの人権が守られ、生きていく力を身につけられるよう支援をします。

調布 きのした やすこ



木下 やすこ

1973年神戸市生まれ。神戸女学院大学卒業。同大学院博士後期課程単位取得満期退学。私立中高教員。安保関連法に反対するママの会@調布立ち上げ。調布市教育委員会教育プラン策定検討委員会市民委員。

憲法をしっかりと心に刻んで、一人ひとりが大切にされる社会を築きたい！

八王子 まえだ よしこ



前田 よし子

1970年八王子市生まれ。青山学院女子短期大学卒業。商社、生命保険会社勤務。NPO 畑と田んぼ環境再生会に参加。福島こども支援・八王子で活動。2015年～八王子市議会議員。文教経済委員会。

多世代が集える居場所で、特技を持ちよりながら、楽しくつながる地域に。

八王子 きだ あや



きだ あや

1981年静岡県生まれ。県立浜松商業高校、専門学校舞台芸術学院卒業。生活クラブ生協まち八王子北たすけあい委員長など。幼稚園父母会役員。八王子・生活者ネット事務局局長。浅川中学校PTA役員。

多様な生き方を尊重し共に生きる社会、困ったときにSOSを出しやすい環境を。

国立 こはま かおる



こはま かおる

1974年神奈川県生まれ。東京学芸大学卒業。デザイン事務所勤務。国立市私立幼稚園PTA連合会役員。0・1・2歳の親子支援活動。くにたち未来シネマで「みんなの学校」上映に参加。小学校PTA会長。くにたち図書館臨時職員。

すべての子どもが共に生き、共に学ぶ。困ったときにはSOSが出せる国立に！

国分寺 いわなが やすよ



岩永 やす代

1971年国分寺市生まれ。中央大学卒業。高校教諭。英国に留学。高校生の留学サポートに従事。多文化ママ友の会で活動。生協まち委員長。2011年～国分寺市議会議員(現在2期目)。文教子ども委員会委員長。

共に育ち、働き、暮らすまちづくりをすすめるために3期目に挑戦します！

国分寺 たかせ かおる



高瀬 かおる

1961年大阪府生まれ。東京音楽大学卒業。生協理事。小・中学校PTA連合会委員。野川流域連絡会委員。2011年～国分寺市議会議員(現在2期目)。建設環境委員会委員長。会派代表。議会改革検討委員会。

世代を超えて、一人ひとりに「真に寄り添う」福祉のまちをつくりまします。

国分寺 つむら ちさと



津村 ちさと

1968年清瀬市生まれ。法政大学卒業。NTTデータ通信派遣社員。デポー国分寺わくわくプロジェクト実行委員。国分寺名水と歴史的景観を守る会、ネットワーク・市民アーカイブで活動。

生活に直結した課題に取り組み、「国分寺市でよかった」と思えるまちづくりに力を尽くします。

東村山 くわはら りさ



桑原 りさ

1962年世田谷区生まれ。都立目黒高校、東京デザイナー学院卒業。デザイン会社勤務。子育てネットプランコ代表。2003～07年東村山市議会議員。小学校PTA会長。東村山市男女共同参画推進審議会委員。

孤独な育児経験でつながる大切さを実感。誰でもいつでも頼れる場づくりを！

東大和 じつかわ けいこ



じつかわ 圭子

1965年保谷市(現西東京市)生まれ。聖心女子大学卒業。空堀川に清流を取り戻す会理事。小学校PTA副会長。TAママの会「フィール」事務局。2011年～東大和市議会議員(現在2期目)。

一人ひとりの想いを大切にしながら、市民のネットワークを広げていきます。

福生 みはら ともこ



三原 智子

1967年青梅市生まれ。都立青梅東高校卒業。京王帝都電鉄に勤務。ガールスカウト指導者。福生・生活者ネット設立、代表。市立小学校PTA会長。2015年～福生市議会議員。総務文教委員会副委員長。

子どもを真ん中にまちづくり！ 子どもの権利が尊重されるまちをめざします。

武蔵野 さいおんじ みきこ



西園寺 みきこ

1958年福島市生まれ。東北大学卒業。薬品会社勤務。高校教諭。東京農工大学大学院修士修了。2011年～武蔵野市議会議員(現在2期目)。福島原発刑事訴訟支援団やNPOむさしの市民エネルギーを支援。

やっぱり市民目線が必要！ ネットにしか言えない発言を続けていきます！

大事なことは市民が決める

2019 統一地方選！ 東京・生活者ネットワークの 提案



ひとりにしない 子育て・介護

支えあい分かちあう
地域共生社会へ

- 自治基本条例、住民参加推進条例をつくる ●情報公開条例に市民の知る権利を保障する ●若者会議など若年世代の参画を呼びかけるしくみをつくる
- 市民活動・NPOへの支援
- コミュニティビジネスやソーシャルビジネスで地域に仕事と雇用をつくる
- 議会改革！
- 議会への市民参加を広げる ●議会基本条例を制定する ●政治分野における男女共同参画を進める
- 若者支援
- 18歳からの政治参加だけでなく、小中学生が地域づくりに参加するしくみをつくる ●児童養護施設に自立支援コーディネーターを配置、施設を出た若者の自立支援策を進める

多様性を認め合う共生社会をつくる

- 子育て支援、子どもの権利
- 子どもの最善の利益を優先、子どもの権利を保障するために子どもの権利条例をつくる ●保育、子育て支援両方の質の向上をめざし、虐待防止につなげる

●教育・学校

- 学び直せるリカレント教育を進める ●人権の観点、生命尊重の視点からの性教育を進める ●共生、共学のインクルーシブ教育を進める

●医療・介護、地域福祉

- 医療だけでなく生活全般も含めた相談支援の場所「暮らしの保健室」をつくる ●在宅介護、在宅医療は医療・保健・福祉の連携、アウトリーチ体制を進める ●介護者を応援するケアラー支援条例を制定する

●障がい児・者支援

- 「障害者差別解消法」に基づく合理的配慮・権利擁護を踏まえ、当事者参加で条例制定をめざす ●就労支援は、共生社会を見据え、共に働く環境を整える

●ジェンダー(男女平等)主流化！

- 女性の人権を守る／被害の救済・支援のしくみを整える ●女も男も生活者！格差を是正し差別を解消する ●多様な性を認め合う／性的指向・性自認(SOGI)が尊重される社会を築く

●誰もが人間らしく働く

- 「生活時間」をとりもどす！人間らしい働き方ができるワークルールをつくる ●ワークス・コレクティブなど、多様な働き方を支援する ●労働問題を解消し、

2019 統一地方選！生活者ネットワークの候補予定者 わたしたちが「市民政策」を実現します

江戸川

いとうひとみ



伊藤ひとみ

1962年足立区生まれ。埼玉大学経済短期大学卒業。通信、生命保険、自動車などの企業、労働情報誌事務局など勤務。平和コンサート企画運営スタッフ。2015年～江戸川区議会議員。

みんな違うからおもしろい！多様性を認め合える社会をめざします。

江戸川

もとしみつえ



本西みつえ

1966年文京区生まれ。青山学院大学卒業。生命保険会社勤務。幼稚園非常勤講師。江戸川区福祉NPO法人理事長。高齢者・障がい者・子育て支援の現場で働く。2015年～江戸川区議会議員。

人と人をつなげ、誰もが自分らしく生きることができる社会をつくれます。

大田

きたざわじゅんこ



きたざわ潤子

1961年高知県香美市生まれ。東洋英和女学院短期大学、日本女子大学通信教育課程卒業。幼稚園教諭を16年間。日本保育学会会員。2011年～大田区議会議員（現在2期目）。防災安全対策特別委員会。

すべての子どもたちの「生きる力」が最大限発揮される社会をめざします。

江東

ちばさきえ



千葉さきえ

1979年世田谷区生まれ。東京農業大学卒業。オーストラリア、ヨーロッパに語学習得などのために滞在。広告、イベントの企画制作会社勤務。子育て支援企業事務局スタッフ。生活クラブ生協まち委員。

子どもが大人になることに希望が持てる江東区づくりをすすめます。

世田谷

たかおかじゅんこ



高岡じゅん子

1960年渋谷区生まれ。筑波大学卒業。ワコール勤務。TOKYOこどもエコクラブまつり実行委員長。生協まち運営委員長、理事。2011年～世田谷区議会議員（現在2期目）。福祉保健常任委員会。

足元から格差を減らし、平和と環境を守り、暮らしの視点で福祉を充実！

世田谷

たなかみちこ



田中みち子

1966年栃木県矢板市生まれ。武蔵野女子大学卒業。リクルートグループ勤務。ACTにて居場所支援活動。アフリカ支援のNGO活動。乳児院ボランティアなど。2015年～世田谷区議会議員。

誰一人取り残されない持続可能な社会の実現に向けて、居場所づくりを！

世田谷

かないえりこ



金井えり子

1964年杉並区生まれ。目黒星美学園高校卒業。日本獣医畜産大学中退。株こくま座で着くみアクター。劇団で制作、MC。生協理事、監事。NPOコンチェルティ／監事。読み聞かせボランティア。

子どもの笑顔を守り、食と環境を大切に、安心して暮らせる社会をつくる。

豊島

つかだひさこ



塚田ひさこ

1962年香川県高松市生まれ。成城大学卒業。サントリー入社。地域情報誌など編集に携わる。フリーランスの編集・ライター。「一般社団法人マガジン9」理事、事務局長。「怒れる女子会」呼びかけ人。

一人ひとりの価値を大切に、お互いの多様性を認め、孤立しない共生社会に。

目黒

わたなべなつこ



渡辺夏子

1981年浦和市（現さいたま市）生まれ。東洋大学卒業。在学中、聴覚障がいを持つ友人のためノートテイク。手話演劇を上演する「二ねん後企画」を立ち上げる。生協まち委員。ダイオキシン調査実行委員。

必要な助けが、必要な人に届けられるような仕組みづくりをめざします。

稲城

むらかみようこ



村上洋子

1955年山形県生まれ。法政大学卒業。全労済、文映教育映画社勤務。調布市子ども条例制定準備委員会委員。多摩南生活クラブ生協理事。若葉台バオバブ保育園で非常勤として働く。2015年～稲城市議会議員。

住みたいまちは人のつながりのあるまち、活かそう「市民力」！

狛江

まつざきよしこ



まつざき淑子

1959年目黒区生まれ。成城大学卒業。日本機械学会事務局勤務。ワーカーズ・コレクティブ職サンス（生協配送業務）に参加、理事。保育園非常勤職員。「みんなの居場所」実行委員として活動。

「寄り添い、考え、提案する」市民と共に活動していきます！

多摩

いわさきみなこ



岩崎みなこ

1960年武蔵野市生まれ。中央大学卒業。証券会社勤務。NPO「青い空・子ども・人権・非暴力」に所属。CAPワークショップ、セルフディフェンス・デートDV防止講座の活動。2015年～多摩市議会議員。

すべての人の人権が尊重され、自らの言葉で発信でき、共に考える社会の実現へ！

府中

にしのおみ



西のお美

1969年広島市生まれ。広島県立女子大学卒業。情報誌制作会社勤務。NPO法人純銀アート協会を設立。銀粘土を通じた社会貢献活動を行う。府中市市民活動推進協議会委員。2015年～府中市議会議員。

子育て世代の暮らしを安心、豊かに。子ども・若者支援を充実させます。

府中

おくむらさちこ



奥村さち子

1963年武蔵野市生まれ。八王子東高校、ビジネス系専門学校卒業。コンピュータ・計測機器メーカー勤務。市内福祉系NPO法人理事、事務局長。府中市市民協働推進会議委員。都内福祉系NPO法人副理事長。

市民力を活かす地域連携を進め、誰もが孤立しない地域社会を実現します。

昭島

はやしまいこ



林まい子

1977年中野区生まれ。慶應義塾大学卒業。海外渡航歴約40か国。日本経済研究所で国際協力に従事。多世代の居場所立ち上げ、にじたまソーシャル映画祭などに参加。昭島市子ども・子育て会議市民委員。

多様であることを受け入れてくれる社会を実現し、次世代に引き継ぎたい。

清瀬

こにしみか



小西みか

1966年足利市生まれ。横浜市立大学卒業。公認会計士。監査法人に非常勤勤務。清瀬市行財政改革検討委員、情報公開・個人情報保護審査会委員。2011年～清瀬市議会議員（現在2期目）。

だれにも居場所と出番と役割があり、一人ひとりを大切にするまち、清瀬に。

小平

さとうえつこ



さとう悦子

1964年長崎県生まれ。長崎県立女子短期大学卒業。法律事務所勤務。小、中学校PTA活動。生協まち委員長。生活クラブ東京農業政策委員・体験農園研究会メンバー。2015年～小平市議会議員。

子どもの権利条例の制定をめざし、介護家族支援のための施策を充実させます。

小平

やまさきともこ



山崎とも子

1968年国分寺市生まれ。藤村女子高校卒業。国分寺市役所入庁。小平市廃棄物減量等推進審議会委員。市立第十二小保護者と教職員の会で活動。生協まち小平委員長。2017年（補欠選）～小平市議会議員。

だれひとり取り残さない共生のまちづくりをすすめ、平和な社会を守ります。

小平

やまうらまゆみ



山浦まゆみ

1974年東京都生まれ。中央大学卒業。立命館大学大学院博士前期課程修了。環境NPOにてインターンを経験。マーケティング会社、環境系人材派遣会社勤務。幼稚園・小学校クラス役員。生協まち委員。

政治と暮らしをより近づけるため、生活者としての視点で全力を尽くします。

東村山

しらいえつこ



白石えつ子

1959年足利市生まれ。県立浦和商業高校卒業。（現）コニカミノルタ入社。小、中学校PTA役員。高齢者・障がい者（児）の介助に従事。多摩きた生活クラブ生協理事。2015年～東村山市議会議員。

高齢者や障がい者にやさしいまち＝誰もが暮らしやすいまちをつくれます！

命をつなぐ環境をまもる

次世代につながる循環型社会

雨水の地下浸透・循環利用を進める

マイクログラスチックの海洋汚染をストップさせる

公共施設でのせつけん利用を進める

水道事業の民営化に反対する

エネルギー・原発0（ゼロ）

脱石油・原発0！再生可能エネルギーへのシフトを進める

小規模市民電力発電所、ペラント発電などでエネルギーの地産地消に取り組み、「創エネ」を進める

気候変動と温暖化防止の環境学習を進める

食の安全／都市農地をまもる

公給食に遺伝子組み換え食品は使わない

学校給食と学校農園の活用で食農教育を進める

食材の放射能測定を継続し、情報公開を進める

遺伝子組み換えは、全食品で表示を求める

添加物、農薬などは徹底した検査と表示の強化を

都市農業と農地を守る

都市計画

人口減少を見据えたまちづくりを市民参加で進める

生物多様性に配慮し、森ー里山ー公園ー農地ー緑地をつなげた緑のネットワークをつくる

防災・減災対策を前へ！

既存の公園を防災広場に！炊き出しや防災訓練ができる体制をつくる

液体ミルクを備蓄する

災害時避難計画に福祉的視点を入れる

通学路の点検は子ども目線で

耐震診断を促し、焼失区域においては難燃改修を支援する

ペット同行避難について地域の理解を得られる対策を立てる

平和・憲法、基地問題

事実に基づいた歴史認識の共有を進める

子どもからおとなまで、憲法・平和を地域で学ぶ市民活動を応援する

多文化共生社会を理解し、地域から平和を築く

オスプレイ配備反対！基地問題に取り組む

貧困の連鎖を断つ

子どもの学習支援と子ども家庭の支援を進め、貧困による教育格差をなくす

生活保護や就学援助は、必要な人が受給できるように周知し、相談体制を充実させる

ひとり親家庭の支援を充実させる

給付型奨学金制度の充実を図る

非正規雇用も社会保障に加入できるように

同一価値労働同一賃金の原則でワーキング・プアに陥らない労働環境を整備する

住まいは生活の基本

居住支援協議会を各区市で立ち上げ、自治体による空き家調査データなどを活用し、住宅確保要配慮者とのマッチング事業を開始する

コミュニティ・支えあいの地域づくり

多世代の居場所づくりを支援する

認知症になっても、障がいがあっても住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくりへ

人権尊重のまち

子どもの虐待防止には、「子どもの最善の利益」を保障し対策をとる

DVや性暴力、性的搾取のない社会をつくり、被害者を守る相談体制を拡充する

人権を保障し差別や偏見をなくすための人権教育を進める

ヘイトスピーチ、ヘイトクライム対策を進める

●4月21日（日）は、2019年統一地方選挙の投票日です（期日前投票は、4月15日～20日）。

「2019 統一地方選」生活者ネットワークを応援します！

三浦まり

上智大学教授

東京・生活者ネットワークは長年にわたって地域に根ざした市民参加を実践してきました。私たちの社会の多様な声を議会に届けるには、地域に基盤のある信頼のおける人を送り出すことが必要です。東京都がすべての人の人権を尊重し、一人ひとりに寄り添うようになるために、東京・生活者ネットワークの候補者を応援します。



辻山幸宣

公益財団法人地方自治総合研究所所長

いまの政治は、①国政政党の地方支配(沖縄県住民投票の市町村決定への介入)、②政党の乱立で市民目線より党利優先に陥っている状況にあります。しっかりと、それぞれの自治体の自治政策を提案できる地方の政党が必要なのです。地方に政党政治を正しく根付かせるためにも、生活者ネットワークの存在をもっともっと大きなものにしていくことが大切だと思っています。心から健闘を願っています。



南部義典

シンクタンク「国民投票広報機構」代表

「ジェンダー主流化」は、ポスト平成を先取りした、これからの社会に不可欠なコンセプトです。これを進めるために、私は既存のどの政党・政治団体でもない、東京・生活者ネットワークの候補者「全員当選」に期待しています。全力で応援します！



私たちも生活者ネットワークを推薦します

●天笠啓祐 ジャーナリスト

生活者の声の結集が、いまほど必要な時はない。私たちは戦後という時代の終焉に立ち会うことになった。政府は戦争への道を突き進み、グローバル化・民間企業優先政策の中で相次いで主権を売り払い、イノベーションの名のもとに危険な科学技術促進を図り、いつの間にか原発事故までなかったことにしようとしている。この流れに対抗するのは生活者の声の結集であり、それができるのは東京・生活者ネットだと思う。期待は大きい。

●池口葉子 在宅福祉サービス NPO 理事長

●池田敦子 元都議会議員

誰もが持っている自分で決める力。この力を無力化するような国の政治。危機感是谁の上にも迫っています。これを跳ね返す私たちの力。私たちの暮らしで生活のことを具体的に決める自治の力を発揮する。それが今年の地方自治体選挙です。さあ、自治体の決める力を強くするために生活者ネットの候補者を議会に送り込みましょう。

●石毛鏡子 市民政策調査会顧問／元衆議院議員

生活者ネットワークは暮らしの課題を政治の場から解決するために、まさに暮らしの当事者として女性議員を実現してきたパイオニアです。「候補者男女均等法」がようやく成立しました。男女議員が同数（パリティ）の議会となるように、そして未来の社会に希望をつなぐために、女性による政治団体＝東京・生活者ネットワークが持つエネルギーをしっかりと全開させる時です。

●井筒和幸 映画監督

●伊藤久雄 認定 NPO 法人まちぼつと理事

●上田昌文 NPO 法人市民科学研究室・代表理事

大企業・富裕層の優遇を露骨に推し進める国政の流れを変えるには、地域の生活者が手を携えて、子どもや社会的な弱者に目を向けた、環境と健康を守る政策を実現できるかどうかが鍵になります。生活者の声を政治に反映させるべく精力的に活動している、東京・生活者ネットワークを推薦いたします。

●植田 泉 東京 CPB（コミュニティパワーバンク）理事長

東京 CPB は市民の意志あるお金によって地域を元気にする非営利金融のしくみです。一人ひとりが大切にされ支えあう共生社会をめざして、一緒にまちづくりをすすめましょう。生活者ネットワークの候補者の方々に応援します。

●遠藤保男 東京の水連絡会代表

今こそ、地に足の着いた政治が必要です。それには、一人一人が人権を第一に置いて、政治の主人公になることが不可欠だと思います。水道法が改悪され、コンセッション方式の導入が可能になってしまいました。東京都が導入することのないように、しっかり監視していこうと思います。水道は自治の原点なので、共に頑張りましょう。

●大江正章 アジア太平洋資料センター (PARC) 共同代表

安倍首相の独善的行動は、ひどくなるばかりだ。辺野古の海への土砂投入は民主主義の破壊に他ならない。暮らしを守る規制は緩和され、格差は広がっている。それに対抗できるのは、自治・共生・多様性を尊重し立憲民主主義を守

り抜く東京・生活者ネットワークだ。いのち・食・農を大切に、安心できるまち東京を共に創っていく。

●大河原雅子 衆議院議員

市民の思いや提案を真摯に受け止める政治の実現は、今年の自治体議員選挙と参議院選挙の結果にかかっています。地域で多様な人々と市民政治を創り上げてきた生活者ネットの躍進を期待し、一緒に戦います。

●大嶽貴恵 環境まちづくり NPO エコメッセ理事長

●沖藤典子 ノンフィクション作家

●奥脇信久 NPO 法人たがやす元理事長

日々の暮らしから沸き起こる声を大切に、市民主体の政治をめざす生活者ネットワークを応援しています。

●鏡 諭 淑徳大学教授

政策は、生活をよりよくするために、実施されるものです。そのためには、地域や生活をよく知る人々の発信が重要です。生活者ネットワークに期待しています。

●加瀬和美 北東京生活クラブ生活協同組合理事長

来るべき高齢化社会、生産現場での後継者問題、エネルギーの問題など、どれをとっても他人事ではすまされません。よりよい政策提案につなげていく活動に市民の代理人は不可欠です。ともに活動し、政治を身近に感じる人を増やしていきましょう。

●片岡 勝 第3世界ショップ・ファウンダー
掲げられている社会の方向性には賛同です。それを市民が主人公になってつくるために未来の政党は何をするのか、が問われているのだと思います。その視点で政治不信に真正面から切り込んでください。期待します。

●加藤健一 俳優

●金子匡良 法政大学法学部教授

日本のジェンダー・ギャップ指数は、世界149カ国のうち110位という低位にあり、その大きな要因は政治が男性に牛耳られていることにあります。日本の政治をジェンダー平等に基づいたものとするために、生活者ネットワークの躍進に期待します。

●鎌仲ひとみ 映像作家

日々の暮らしの中で、私たちの税金がどれだけ無駄に使われていることが、とても残念に感じることが多くなりました。やはり、生活者の目線を持った女性の意見がもっと政治の場に必要だと強く感じます。東京ネットの挑戦を応援しています。

●神山美智子 弁護士

安倍一強政治の下、生活者・消費者の人権が日々押しつぶされています。ノーと言う人たちの数を増やしましょう。

●木原省治 原発はごめんだヒロシマ市民の会代表

東京への一極集中が進む中で、取り残されている社会的弱者への施策をどうきめ細かく行なうか、とても大切なことだと思います。東京オリンピック、大阪万博のようなイベント第一主義ではなく、真に生活者に寄り添う優しい政治を都民に訴えてください。皆さんの奮闘から私も希望と展望を得たいと思います。

●工藤春代 特定非営利活動法人市民シンクタンクひと・まち社代表理事

●小柳智恵 東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合理事長

経済効率優先の働き方から労働の質を変え、誰もが人間らしく尊厳をもち「共に働き」「共に生きる」そんな地域社会をつくるには、政策決定の場に、当事者の目線で市民の声を議会につなぐ議員が必要です。地域から市民政治を拡げる生活者ネットワークを応援します。

●近藤恵津子 NPO 法人コミュニティスクール・まちデザイン理事長

水（水道）のこと、種子のこと、生命の基盤が脅かされています。東京オリンピックに向けて加速する JGAP で本当に日本の農業は良（Good）になるの？ TPP11、日欧 FTA、RCEP…で私たちの暮らしはどうなるの？ CS まちデザインは、大切なものが大切にされる社会をつくるため、食と農を中心とした学びと体験の場をつくり続けていますが、この国の将来は疑問と不安に満ちていると言わざるを得ません。「命をつなぐ環境をまもる」ために、これからも生活者ネットワークと連携して活動を進めていきます。

●佐々木貴子 認定 NPO 法人まちぼつと理事長

政治への市民参加をすすめ、政治の主体者としての市民のすそ野を地道に広げてきた地域政治団体・生活者ネットワークの活動に期待しています。共生社会をめざし、地域や社会で見逃されがちな課題を当事者に寄り添いながら、大勢の市民とともに提案し、解決を図る活動をさらに精力的にすすめていってほしいと思います。

●島袋善弘 山梨県立大学名誉教授

生活者ネットは食・子育て・介護・環境などを生活の場から考え、人権が保障される平和な社会をつくることをめざしています。生活者ネットの議員は私たち市民が候補者を選び、市民とともに考える議員です。民主主義の理想のかたちをめざしています。

●進藤久美子 東洋英和女学院大学元教授

2012 年末以来、安倍一強政治のもとで、原発再稼働や軍事予算の大幅増など、企業の利益優先、生活者無視の政治が続いています。この日本の金権政治に NO！をつきつけ、生活者主権の政治本来の姿を取り戻すために、生活者ネットの活躍に大いに期待します。

●杉田 敦 法政大学教授

●鈴木 篤 弁護士

「全体主義の起源」を書いたハンナ・アーレントは、市民たちが、公の場で語り、行為することが許される場としての政治が、全体主義の下では消滅すると書きました。これを言い換えれば、市民たちが公の場で語り、行為する場を拡げていくことこそが全体主義を許さない道につながるといことになります。だから私は、市民とともに考え歩むことを大切にしている生活者ネットを支持しています。

●竹村英明 脱原発政治連盟「緑茶会」代表

●田中 優 未来バンク事業組合理事長

今の日本は常識が通用しなくなってしまった。国会は論議せず、ただ強行採決するだけの場だし、数だけの勝負となり論理は全くされない。こんなばかげた事態は劣化した社会が作った。正常な社会を取り戻すには女性の力と暮らしを根拠にしたロジックが欠かせない。生活者ネットワークの活動はまさにそれを根拠にしている。社会を正常化させるために、生活者ネットワークに期待したい。

●趙 博 浪速の歌う巨人

『3・11 フクシマ』から 8 年を迎えます。民主党政権の無様な崩壊後「安倍ファシスト・自公独裁政権」は、原発事故と放射能被害を隠蔽しつつ被災者を切り捨て、辺野古新基地建設強行する姿勢を崩しません「安倍の安倍による安倍のための嘘つき政治」を一日も早く終わらせましょう、『3・1 独立運動』百周年の今年こそ！

●土谷雅美 生活クラブ生協理事長

生活クラブは、今年生協となって 50 年目となります。生活クラブは、地域で生活することから社会の課題を明らかにして運動を続け、ネットの皆さんと連携してきました。この間、柏崎刈羽原発の再稼働を許さない活動と再生可能エネルギーの推進が課題です。私たちの共通の価値実現に向けて、ネットの議席が増えるよう共

にがんばりましょう。

●坪井照子 NPO 法人循環型社会研究会理事

●坪郷 實 早稲田大学名誉教授

地域で生活する多様な市民によって課題解決のための政策をつくり、この市民政策を実現しましょう。

●中川李枝子 児童文学作家

●中西正司 ヒューマンケア協会代表

生活者ネットワークからの候補者を推薦いたします。障害者差別解消法が議会で改正されるよう、ご協力をお願いします。合理的配慮の義務化が我々の目的です。

●林 泰義 NPO 玉川まちづくりハウス運営委員

●原 ミナ汰 共生社会をつくるセクシュアル・マイノリティ支援全国ネットワーク代表

性的マイノリティの社会的認知度がいつになく高まっているなか、LGBT への差別を禁止し、ヘイトスピーチを規制する「東京都オリンピック憲章にうたわれる人権尊重の理念実現のための条例」が成立しました。この条例成立の背後には、生活者ネットワークの皆さんの並々ならぬ協力がありました。これからも、暮らしをつくる地域政党として、大きな力を発揮されるよう期待しています。

●広岡守穂 中央大学法学部教授

東京・生活者ネットワークは市民目線の活動をごつこつと積みあげてきました。政治を市民の手にとりもです。そのために応援しています。

●福嶋浩彦 元我孫子市長

市民一人ひとりの思いから出発し、皆で話し合って合意をつくり、その合意で社会を築くのが「自治」です。議会はそのための道具です。本当に市民一人ひとりから出発した時、「経済成長＝国民の幸せ」という公式とは違った豊かさが見えてきます。その豊かさこそ未来を拓く原動力です。常に市民の視点で活動する生活者ネットに期待します。

●藤田愛子 元都議会議員

●保坂公人 神田川ネットワーク代表

2011 年 3 月 11 日に発生した東北地方の大地震による津波被害・東京電力福島第一原発による大事故から 8 年、復興の兆しははっきりしない昨今、各地の原発は再起動が始まります。再生可能エネルギーへの転換は忘れられてしまうのでしょうか？ 市民がもっと声高に政策に注文をつけ、政治に送り出す仲間を増やさなければいけません。市民の政治を取り戻しましょう。

●三木由希子 NPO 法人情報公開クリアリングハウス理事長

●山口二郎 法政大学教授

●山田和夫 要町あさやけ子ども食堂店主

私の関わっている子ども食堂は、子どもだけでなく、手伝いに来たり、食へに来る大人にとっても大事な居場所になっています。「一人にしない子育て・介護」を実現する生活者ネットワークを応援します。

●山田 真 八王子中央診療所 小児科医

今、僕たちの未来をあやぶむ声が高まっています。弱者と云われる人たちがますます生きにくくなる社会がつくられようとしています。そんな中で庶民の味方である生活者ネットワークへの期待は大きいのです。ほくも応援します。

●湯浅一郎 ピースデボ共同代表

朝鮮半島で南北分断を克服し、冷戦を終わらせるプロセスが始まり、朝鮮半島の非核化と平和が現実的課題として見えてきました。これを促すために北東アジア非核兵器地帯を求める地方議会の意見書採択が有効です。民主主義を市民社会に定着させるため、生活に密着した課題に取り組む生活者ネットワークの活躍を期待します。

（五十音順）